

(工学部・工学研究科)
公益財団法人亀井記念財団
2026年度外国人留学生奨学生の募集

2026. 5. 1

1 応募資格・・・以下のすべてに該当するもの

- 1) 2026年4月現在で、学部正規課程(3年次以上)又は大学院正規課程に在籍する外国人私費留学生(在留資格「留学」)。
- 2) 本人・配偶者・家族が奨学金を受けている場合には、この奨学金との合計額が月額12万円を超える場合には、応募不可。
- 3) 日本語によるコミュニケーションが可能な者。

Japanese proficiency which can communicate in Japanese is required to apply.

2 援助の金額、援助の期間

月額：学部生 5万円、大学院生 6万円

期間：2026年4月以降、現在籍課程の正規の修学期間の終わりまで

3 推薦人数

工学部又は工学研究科から1名

4 提出書類

- 1) 外国人留学生奨学金申込書 (**A3サイズで印刷**、記入のこと)
(写真貼付・日本語自筆・黒いペンで記入、消えるボールペンは不可)
 - ※ 学費(授業料)について
 - 2025年度前期分を月換算で記入
 - 免除申請中の場合：金額は書かず(免除申請中)と記入
 - 総長特別奨学生の場合：収入欄に支給額を記入
 - ※ 2026年4月現在で記入すること。
 - ※ 「家計の状況」欄は、収入と収支の合計を一致させること。
 - ※ 「他の奨学財団からの受給状況」は、受給暦がある場合は直近の3件まで記入すること。
 - ※ 該当事項がない欄には「なし」等記入すること。
 - ※ 「身元保証人」は、学業遂行上の保証者を意味するため、指導教員等に依頼すること。
- 2) 直近の成績証明書(写し)
- 3) 在留カードの写し(両面)
- 4) 経済状況調書(所定エクセル様式)
- 5) 民間奨学金申請の心得(指定用紙)
- 6) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 7) 家計状況申告書(指定用紙)
- 8) 指導教員の推薦書(所定様式)
 - ※ **工学部・工学研究科から推薦が決定後提出**
 - ※ 学部生については、クラス担任等の教員により作成。
 - ※ PC作成可、但し作成者(指導教員等)の自筆署名、押印(シャチハタ不可)のこと。

5 書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係 (中央棟3F)

6 締切日 2026年5月13日(水)

2026年度に併給不可の他奨学金に受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者は推薦対象外とします。

2026年4月1日

2026年度 奨学生募集のご案内

外国人私費留学生の皆さんへ

仙台市青葉区国分町3-1-18
公益財団法人 亀井記念財団
事務局長 保志 一憲
URL <https://kmfo.or.jp/>

当財団は、人物及び学業成績が優秀で、学資負担の困難な高校生・高等専門学校生・看護学校生および外国人私費留学生に奨学金を支給し、大学生・大学院生に対し奨学金を貸与している奨学財団です。

今年度も、下記の要綱にて外国人私費留学生の奨学生を募集しますのでご案内いたします。

1 応募資格

- (1) 留学生にふさわしい生活態度・信条を持ち、健康・成績優秀かつ国際交流・国際親善に関心があり、生活上経済的援助を必要とする私費留学生であること。
- (2) 宮城県下の大学に通学する学部学生及び大学院生であること。
- (3) 年齢・国籍には、制限はありません。
- (4) 在学年次は問いません。ただし、学部学生は3年生以上であること。
- (5) 本人・配偶者・家族の奨学金（当財団の奨学金と他の奨学金）の合計額が月額12万円を超える金額になる場合は、当財団の奨学金を辞退していただくこともあります。

2 奨学金

- (1) 正規の修学期間、下記の奨学金を支給します。
学部学生の場合 奨学金月額50,000円を支給します。
大学院生の場合 奨学金月額60,000円を支給します。
- (2) 採用された方の、初年度の奨学金の支給開始は7月になります。
(7月の第1回目の支給は、4月～9月の6カ月分を一括して支給)

3 支給期間と条件

- (1) 奨学金の支給期間は、①学部卒業まで②修士課程修了まで③博士前期課程修了まで④博士後期課程修了までの四つに分けており、それぞれ採用年度の4月から正規の卒業年度（正規の修業期間）まで支給します。
- (2) 卒業または修了時、各自の卒業論文の概要を当財団に提出することを義務付けております。

4 応募の手續

- (1) 応募には下記の書類の提出と指導教官等の推薦書が必要です。あらかじめ、指導教官及び留学生課の方とよくご相談ください。また応募用紙は留学生課の方にお尋ねください。なお、指導教官等の推薦書は、できるだけ詳しい内容（修学状況、教育・研究指導計画、推薦理由）を記載してもらってください。

- ①外国人留学生奨学金申込書（願書・推薦調書）・・・1通
- ②本人の写真（上記申込書に貼付）・・・1枚
(6ヶ月以内のもので、縦4.5cm×横4.0cm程度、白黒・カラーを問わず。)

* 応募書類は留学生課に提出してください。応募締切は留学生課に確認してください。また、当財団では、大学側が推薦した留学生についてのみ選考の対象といたします。

5 選考と採用

- (1) 7月上旬に選考委員会を開き、各大学より推薦された方の申込書と面接により公正に審査し、15名の採用を予定しております。
- (2) 面接日程は、本人へ事前に連絡いたします。
- (3) 採否は、7月中旬に、大学を經由し本人にご通知いたします。なお、選考結果を直接当財団に問い合わせても回答致しかねますのでご遠慮願います。

6 採用になった場合

- (1) 大学より、奨学生採用の通知と誓約書が交付されますので、誓約書の所定箇所を記入押印（推薦した指導教官等の記入押印も必要）の上、大学へ提出してください。また、オリエンテーション（7月下旬予定）を開催致しますので、必ず出席下さいますようお願いいたします。
(やむを得ず、オリエンテーションに出席できない場合でも採用取消にはなりません)
- (2) 奨学金はオリエンテーションで本人に直接現金で支給いたします。第1回目の支給は、4～9月までの6ヶ月分を一括支給します。

7 その他

- (1) 申込書は選考上重要な資料です。事実をありのまま記入して下さい。仮に、記入しなければならないことを故意に記入しなかったり、虚偽の記入を行ったことにより奨学生になったことが判明した時は、直ちに奨学生の資格を喪失しますし、奨学金を返還してもらうこととなりますのでご注意ください。
- (2) 申込書の現住所欄の住居区分に該当するものがない場合は、その他を○で囲み、空欄に具体的内容を必ず記入して下さい。なお、住居区分に表示している「MS」はマンション・「AP」はアパートのことです。
- (3) 申込書の記入内容や指導教官等の推薦書類に不備がある場合は受付致しませんので、確認してから大学へ提出して下さい。もし、分からない所がありましたら、必ず、大学の留学生課の方にお問い合わせ下さい。本人からの直接の問い合わせには対応致しません。
以上

外国人留学生奨学金申込書(願書・推薦調書)

*の箇所は該当するものを○で囲むこと

公益財団法人 亀井記念財団 殿				年 月 日
下記の記載事項に相違ありません。貴財団の奨学金を申し込みます。				
大学名	学部 * 修士・博士前期・博士後期	学科	年生	研究科
フリガナ	卒業見込年月	年	月	
本人氏名	生年月日	年	月	日
* 男・女	* 借家(戸建・MS・AP)・寮・公営住宅・交流会館・ 現住所下		その他	
国籍・出身地	TEL - -		貼付欄	
* 食べられないもの: ①豚肉 ②牛肉 ③刺身 ④その他 アレルギー: ①なし ②あり()				
経 歴				
学校区分	学校名及び所在地	入学・卒業 年月	専攻科目 または資格取得	
高 校	学校名:	入学	年	月
	所在地:	卒業	年	月
大 学	学校名:	入学	年	月
	所在地:	卒業	年	月
大学院	学校名:	入学	年	月
	所在地:	卒業	年	月
[来日後、現在までの経過] (記入例: 東京・〇〇日本語学校2カ月通学)				
職 歴				
勤務先名及び所在地		勤務期間	職務の内容・復職の予定等	
日本で勉強する目的:				
研究テーマ:				
内 容:				

家族構成					
家族の氏名	続柄	年齢	同居 区分	住 所	勤務先名等
家計の状況 [その他の場合は()にその内容を記入して下さい。]					
収入(月額)			支出(月額)		
本人の収入	配偶者の収入 (夫または妻がいる場合記入)		本人の支出	配偶者の支出 (夫または妻がいる場合記入)	
1. 仕送り	千円	千円	1. 住居費	千円	千円
2. アルバイト	千円	千円	2. 学 費	千円	千円
3. 奨学金	千円	千円	3. 交通費	千円	千円
4. 預金引出	千円	千円	4. 生活費	千円	千円
5. その他	千円	千円	5. その他	千円	千円
()			()		
収入合計			千円	支出合計	
				千円	
他の奨学団体からの奨学金受給状況 (現在、奨学金を受給している場合記入)					
1 団体名:		・受給期間		・受給月額	千円
2 団体名:		・受給期間		・受給月額	千円
3 団体名:		・受給期間		・受給月額	千円
身元保証人(日本国内での身元保証人)					
氏名:		印		生年月日	年 月 日 性別:
	〒	-			
住所:				TEL	-
職業:			本人との関係:		

この申込書に記入されている個人情報、当財団の奨学金業務のためのみ利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。また、提出書類は返却致しませんので、ご了承下さい。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

—奨学金申請時の心得について—

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2026.04.01

1. 申請の前に

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

また、本学の推薦を経て採用された後に、他の奨学金への申請等を理由として辞退することは認められません。財団からの信頼を損なうのみならず、次年度以降の推薦枠の減少を招くなど、本学全体に不利益を及ぼす可能性があることを十分に自覚したうえで申請してください。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL
氏 名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)			

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2025年4月から2026年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2025年10月入学の場合は2025年10月から2026年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

* この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

--

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2026	前期	申請中	申請なし			
2025	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった